50th Anniversary

エフゲニー・キーシン50周年記念プロジェクト

作曲家キーシン
～その肖像

KISSIN THE COMPOSER

2021年11月18日(木)19:00開演

サントリーホール（ブルーローズ）

7:00p.m., Thursday, November 18, 2021, at Suntory Hall, Blue Rose

主催：ジャパン・アーツ

エフゲニー・キーシン50周年記念プロジェクト

作曲家キーシン ～その肖像

KISSIN THE COMPOSER

Program

エフゲニー・キーシン　Evgeny Kissin

■ 4つの小品 Op.1　Four Piano Pieces Op.1

1. メディテーション　1. Meditation ※
2. ドデカフォニック・タンゴ　2. Dodecaphonic Tango
3. インテルメッツォ　3. Intermezzo ※
4. トッカータ　4. Toccata ※

松田華音（ピアノ）Kanon Matsuda *(Piano)*

■ チェロとピアノのためのソナタ Op.2　Sonata for Violoncello and Piano Op. 2 ※

佐藤晴真（チェロ）Haruma Sato *(Cello)*　阪田知樹（ピアノ）Tomoki Sakata *(Piano)*

■ 弦楽四重奏曲 Op.3　String Quartet Op. 3 ※

成田達輝（第1ヴァイオリン）Tatsuki Narita *(1st Violin)*　小林美樹（第2ヴァイオリン）Miki Kobayashi *(2nd Violin)*
川本嘉子（ヴィオラ）Yoshiko Kawamoto *(Viola)*　笹沼 樹（チェロ）Tatsuki Sasanuma *(Cello)*

■「タナトプシス(死の観念)」（女声とピアノのための）Op.4　Thanatopsis for Female Voice and Piano Op. 4　世界初演

林美智子（メゾ・ソプラノ）Michiko Hayashi *(Mezzo Soprano)*　阪田知樹（ピアノ）Tomoki Sakata *(Piano)*

■「古い蓄音機から飛び出した小鳥のアレフ」（イディッシュ・ミュージカルより） ※

Dos feygele Alef funem altn gramofon (The bird Alef from the old gramophone)

1. 小さな星のうた　1. SHTERNDL (The song of the star)
2. イディッシュ語の文字（アレフ-ベイス）のうた　2. Alef-Beys (The song of the Yiddish letters)
3. エリヤフおじいさんのうた　3. Dos Lid fun Eliahu (The song of grandfather Elijah)
4. エリーのおとぎ話　4. Elis Maysele (Eli's story)
5. おサルのマニエのうた　5. Manyes Lid (The song of Monkey Manye)
6. ブルードラゴンのうた　6. Drakons Lid (The song of blue dragon)
7. 動物たちの戯（あそ）びうた　7. Reytslke (Silly rhymes by animals)
8. 仕事のうた（僕が医者だったら…）　8. Bin Ikh Mir… (The song about professions)
9. アレフ-ベイス（フィナーレ）　9. Final (Alef-Beys)

森谷真理（ソプラノ）Mari Moriya *(Soprano)*　林美智子（メゾ・ソプラノ）Michiko Hayashi *(Mezzo Soprano)*
黒田祐貴（バリトン）Yuki Kuroda *(Bariton)*　松田華音（ピアノ）Kanon Matsuda *(Piano)*

※日本初演

エフゲニー・キーシンによるアフタートークが予定されています。モデレーター：松本良一（読売新聞文化部記者）

エフゲニー・キーシン
Evgeny Kissin

エフゲニー・キーシンは、その音楽性、深く掘り下げた詩的な解釈、卓越した演奏技術により、同世代の中で、そしておそらく過去の世代おいても、最も才能あるクラシック・ピアニストの一人として、その資質にふさわしい尊敬と称賛を得てきた。彼は世界中で人気を博し、これまでにアバド、アシュケナージ、バレンボイム、ドホナーニ、ジュリーニ、レヴァイン、マゼール、ムーティ、小澤征爾など多くの世界的名指揮者や世界の一流オーケストラと共演している。

1971年10月モスクワ生まれ。2歳の頃、耳で聴いた音楽を演奏したり、ピアノで即興的なフレーズを弾いたりし始めた。6歳で、才能ある子供たちのための特別な学校であるモスクワのグネーシン音楽学校に入り、現在に至るまで彼の唯一の教師となったアンナ・パヴロヴナ・カントールに師事。10歳でモーツァルトのピアノ協奏曲(K.466)を弾いて協奏曲デビューを果たし、その1年後には初めてのソロ・リサイタルをモスクワで行った。1984年3月、12歳のときに、ドミトリー・キタエンコ指揮／モスクワ・フィルとともに、モスクワ音楽院大ホールでショパンのピアノ協奏曲第1番と第2番を演奏し、世界的に注目されるようになった。同公演はメロディアによりライヴ収録され、翌年2枚組LPのアルバムがリリースされた。この録音の大成功に続き、メロディアはその後2年間のうちに、モスクワで行われたライヴ公演のLPをさらに5枚リリースすることとなった。

彼がロシア国外に初めて登場したのは1985年の東ヨーロッパであり、翌年には初めての日本ツアーを行った。1988年12月、ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮／ベルリン・フィルとジルベスター・コンサートで共演し、全世界で放送された。1990年、ロンドンのBBCプロムナード・コンサートに初めて出演。同年、北アメリカにもデビューし、ズービン・メータ指揮／ニューヨーク・フィルとショパンの協奏曲第1番、第2番を演奏した。翌週には、カーネギー・ホールの百周年シーズンの開幕を飾る見事なデビュー・リサイタルを行い、BMGクラシックスによってライヴ収録された。

2020／21年シーズンは、リサイタルのほか、グスターボ・ドゥダメル指揮／ウィーン・フィルと共演し、リストのピアノ協奏曲第1番をザルツブルク音楽祭にて演奏。

世界中から音楽賞や記念賞が次々と与えられており、1986年の最高の演奏として(これが日本での最初の演奏だった)大阪、ザ・シンフォニーホールのクリスタル賞が与えられた。1991年にはイタリアのシエナのキジアーナ音楽アカデミーから年間最優秀音楽賞を受賞。また、1992年のグラミー賞授章式に特別ゲストとして招かれ、推定10億人以上のテレビの聴衆を前にライヴ演奏を行い、1995年には「ミュージカル・アメリカ」の器楽賞を最年少で受賞した。1997年、ロシア文化への彼の傑出した貢献に対して、名誉ある凱旋賞(Triumph Award)が与えられた。これは、ロシア共和国で与えられる最高の文化的栄誉のひとつであり、ここでもキーシンは史上最年少の受賞者となった。このほか、マンハッタン音楽大学から名誉音楽博士号、ロシアの音楽界における最高の栄誉の一つであるショスタコーヴィチ賞、ロンドンの英国王立音楽院の名誉会員資格、そして直近では香港大学より名誉博士号を授与された。

一番最近のリリースは、ドイツ・グラモフォンからのベートーヴェンのソナタ・アルバムである。これ以前の録音においても、世界の大演奏家達による名曲コレクションに多大に寄与しており、無数の賞を与えられている。その中には、オランダの「エディソン・クラシック」、フランスの「金の音叉賞」とヌーヴェル・アカデミー・ドゥ・ディスク(La Nouvelle Academie du Disque)の「グランプリ」などがある。2006年には、スクリャービン、メトネル、ストラヴィンスキーの作品を収録した録音(RCAレッド・シール)により、グラミー賞(最優秀器楽ソリスト部門)を、2002年には、エコー・クラシック賞(最優秀ソリスト)を受賞した。さらに2010年には、ウラディーミル・アシュケナージ指揮／フィルハーモニア管弦楽団と共演したプロコフィエフのピアノ協奏曲第2番、第3番の録音(EMIクラシックス)により、グラミー賞(最優秀オーケストラ共演器楽ソリスト部門)を受賞した。

キーシンの卓越した才能に感銘を受けたクリストファー・ニューペンは、ドキュメンタリー映画「エフゲニー・キーシン：音楽の贈り物」を制作。同作品は、2000年にビデオとDVDとしてRCAレッド・シールからリリースされた。

阪田知樹（ピアノ）
Tomoki Sakata, *Piano*

©HIDEKI NAMAI

2021年エリザベート王妃国際音楽コンクール第4位入賞。2016年フランツ・リスト国際ピアノコンクール第1位、6つの特別賞。東京藝術大学を経て、ハノーファー音楽演劇大学大学院ソリスト課程に在籍。国内はもとより、世界各地20カ国で演奏を重ね、国際音楽祭への出演多数。2015年CDデビュー、2020年3月、世界初録音を含む意欲的な編曲作品アルバムをリリース。内外でのテレビ・ラジオ等メディア出演も多い。2017年横浜文化賞文化・芸術奨励賞受賞。

松田華音（ピアノ）
Kanon Matsuda, *Piano*

©Ayako Yamamoto

6歳よりモスクワで学ぶ。スクリャービン記念博物館より2011年度の「スクリャービン奨学生」に選ばれ、モスクワ市立グネーシン記念中等（高等）音楽専門学校で外国人初の最優秀生徒賞を受賞。2013年同校を首席で卒業。モスクワ音楽院に日本人初となるロシア政府特別奨学生として入学。2019年同校を首席で卒業。2021年モスクワ音楽院大学院修了。ドイツ・グラモフォンより2枚のアルバムをリリース。2018年かがわ21世紀大賞受賞。

成田達輝（第1ヴァイオリン）
Tatsuki Narita, *1st Violin*

©Marco Borggreve

2010年ロン＝ティボー国際コンクール第2位、2012年エリザベート王妃国際音楽コンクール第2位及びイザイ賞を受賞。これまでに、ペトル・アルトリヒテル、オーギュスタン・デュメイ、ピエタリ・インキネンほか国内の指揮者、オーケストラと共演し高い評価を得るとともに、室内楽奏者としても活動を広げる注目の若手ヴァイオリニスト。現代の作曲家とのコラボも多い。使用楽器は、ストラディヴァリウス1711年製“Tartini”（宗次コレクションより貸与）。

小林美樹（第2ヴァイオリン）
Miki Kobayashi, *2nd Violin*

©山吹康男

5年に一度ポーランドで行われ伝統と格式あるヴィエニャフスキー国際ヴァイオリンコンクールで第2位を受賞。N響はじめ国内主要オーケストラ、ウィーン・フィルメンバーと共演するほか、ヴェンゲーロフや国内外の指揮者からの信頼も厚い。室内楽にも力を発揮するほか、TVにも度々出演し多くのファンを獲得している。出光音楽賞の受賞歴もあり、「レコード芸術」誌の特選盤を含む4枚のCDがリリースされている。徳永二男氏、パヴェル・ヴェルニコフ氏に師事。

川本嘉子（ヴィオラ）
Yoshiko Kawamoto, *Viola*

©島崎陽子

1992年ジュネーヴ国際コンクール・ヴィオラ部門で最高位（1位なしの2位）。タングルウッド、マールボロ、小澤音楽塾、水戸室内管、アルゲリッチ音楽祭等に参加。アルゲリッチやバシュメットなどと共演し絶賛を博している。1991年東京都交響楽団に入団。1999年～2002年まで首席奏者を務める。2017年～2021年3月にはNHK交響楽団首席客演奏者を務めた。ソリスト・室内楽奏者として日本で最も活躍するヴィオラ奏者の1人。

笹沼 樹（チェロ）
Tatsuki Sasanuma, *Cello*

©Kei Uesugi

いま最も大きな期待を集めている若手の一人。ARDミュンヘン国際コンクール、ニューヨークのYoung Concert Artists International Audition、東京音楽コンクール、日本音楽コンクールなどに優勝・入賞。桐朋学園大学ソリストディプロマコース修了、並びに学習院大学文学部卒業。19年にデビューCD『親愛の言葉』（レコード芸術特選盤）をリリース。桐朋学園大学大学院修了。使用楽器は1771年製C.F.Landolfi（宗次コレクション）。

佐藤晴真（チェロ）
Haruma Sato, *Cello*

©Seiichi Saito

2019年、ミュンヘン国際音楽コンクールチェロ部門において日本人として初めて優勝し、国際的に注目を集めた。2018年、第11回ルトスワフスキ国際チェロコンクール第1位および特別賞を受賞など多数の受賞歴を誇る。すでに国内外の著名なオーケストラと共演しており、リサイタル、室内楽でも好評を博す。本年11月には、名門ドイツ・グラモフォンよりセカンドアルバムをリリース予定。現在、ベルリン芸術大学在学中。使用楽器は宗次コレクションより貸与されたE.ロッカ1903年製。

森谷真理（ソプラノ）
Mari Moriya, *Soprano*

武蔵野音楽大学、同大学院卒業後、ニューヨークのマネス音楽院プロフェッショナル・スタディーズ修了。世界各地のコンクールにて優勝、受賞。欧米ではメトロポリタン歌劇場にて2006年に《魔笛》夜の女王で大成功を収めたのをはじめ、国内外の著名指揮者および主要オーケストラとの共演も多い。2019年には「天皇陛下御即位を祝う国民祭典」にて国歌独唱を務めた。小山評定ふるさと大使。とちぎ未来大使。下総皖一音楽賞受賞。https://marimoriya.com/

林美智子（メゾ・ソプラノ）
Michiko Hayashi,
Mezzo Soprano

©Toru Hiraiwa

東京音楽大学卒業。桐朋学園大学研究科、二期会オペラスタジオ、新国立劇場オペラ研修所第1期修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてミュンヘンに留学。2003年国際ミトロプーロス声楽コンクール最高位、第5回ホテルオークラ音楽賞受賞。二期会、新国立劇場などを中心に数多くのオペラに出演し、最近は自らオペラをプロデュースも行う、人気、実力ともに日本を代表するメゾ・ソプラノ。
公式ホームページ https://hayashimichiko.themedia.jp/

黒田祐貴（バリトン）
Yuki Kuroda, *Baritone*

©Masatoshi Yamashiro

東京藝術大学卒業、同大学院修士課程修了。伊・キジアーナ音楽院でディプロマ取得。第87回日本音楽コンクール第2位、岩谷賞（聴衆賞）受賞。2021年デビューアルバム「Meine Lieder」リリース(日本コロムビア)。同年7月佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ『メリー・ウィドウ』ダニロ・ダニロヴィッチ伯爵でオペラデビュー。2022年3月アントネッロ主催オペラ『ジュリオ・チェーザレ』にアキッラ、6月NISSAY OPERA『セビリアの理髪師』にフィガロで出演予定。